社会資本総合整備計画　　社会資本整備総合交付金

令和06年12月25日

計画の名称	和泉市におけるみどり豊かで安全、快適な公園・緑地環境づくり（第四期）
計画の期間	令和０７年度　～　令和１１年度　(5年間)　　重点配分対象の該当
交付対象	和泉市
計画の目標	和泉市においては、和泉市総合計画に基づき、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを目標とし、その中で安らぎとうるおいを与える公園・緑地づくりを推進している。 本市の総合公園である、緑豊かな松尾寺公園と、住宅密集地での防災公園の役割を担う黒鳥山公園の整備を推進するとともに、自然豊かな信太山丘陵里山自然公園を市民憩いの場、自然体験の場、環境学習の場として、整備を推進していく。

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	1,779	A	1,779	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7当初	R9末	R11末
1	全市民に対する総合公園等（黒鳥山公園・松尾寺公園・信太山丘陵里山自然公園）の一人当たり供用面積：1.27㎡／人（令和6年度当初）　→　2.14㎡／人（令和11年度末）			
	全市民に対する総合公園等（黒鳥山公園・松尾寺公園・信太山丘陵里山自然公園）の一人当たり供用面積 全市民に対する総合公園等の供用面積　／　市総人口（18.2万人設定）	1㎡／人	2㎡／人	2㎡／人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

・全市民に対する総合公園等の供用面積／市総人口　（R7当初）1.27㎡／人、（R9末）1.79㎡／人、（R11末）2.14㎡／人

案件番号：

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R07	R08	R09	R10	R11	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	和泉市	直接	和泉市	－	－	都市公園事業（黒鳥山公園）	園路・広場・休憩所等　0.5ha	和泉市	■	■	■	■	■	210		－
	A12-002	公園	一般	和泉市	直接	和泉市	－	－	都市公園事業（松尾寺公園）	園路・広場・休憩所等 2.3ha 用地買収 7.0ha	和泉市	■	■	■	■	■	825		－
	A12-003	公園	一般	和泉市	直接	和泉市	－	－	都市公園事業（信太山丘陵里山自然公園）	園路・広場・休憩所等 13.3ha 用地買収 10.4ha	和泉市	■	■	■	■	■	744	3.36	－
											小計						1,779		
											合計						1,779		

案件番号：

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	R07				
配分額（a）	62				
計画別流用増△減額（b）	0				
交付額（c=a+b）	62				
前年度からの繰越額（d）	0				
支払済額（e）	62				
翌年度繰越額（f）	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額（h = c+d-e-f）	0				
未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

案件番号：

事前評価チェックシート

計画の名称： 和泉市におけるみどり豊かで安全、快適な公園・緑地環境づくり（第四期）

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性 ①上位計画等との整合性　1）地域防災計画への位置づけがある。	○
I.　目標の妥当性 ①上位計画等との整合性　2）その他の（上位）計画等への位置づけ及び整合性が確保されている。	○
I.　目標の妥当性 ②地域の課題への対応　1）地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I.　目標の妥当性 ②地域の課題への対応　2）まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II.　計画の効果・効率性 ③整備計画の目標と事業内容の整合性　1）目標と指数・数値目標の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③整備計画の目標と事業内容の整合性　2）指数・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③整備計画の目標と事業内容の整合性　3）目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③整備計画の目標と事業内容の整合性　4）指数・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II.　計画の効果・効率性 ④事業の効果　1）十分な事業効果が確認されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ④事業の効果　2）少子・高齢化社会への対応を図っている。	○
II.　計画の効果・効率性 ④事業の効果　3）調査や計画に基づき事業を行っている。	○
III.　計画の実現可能性 ⑤地元の熱意　1）まちづくりに向けた機運がある。	○
III.　計画の実現可能性 ⑤地元の熱意　2）関係機関・学識経験者等と協力して委員会を設立し、計画を策定している。	○
III.　計画の実現可能性 ⑤地元の熱意　3）各種の競技会・大会等に利用出来る施設については、各種団体等と協議を行い要望聴取等を実施している。	○
III.　計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境　1）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

案件番号：